

令和4年上半期火災・救急・救助概要（概数）

小松市消防本部

火災概要

令和4年上半期(1月～6月)の出火件数は3件で、前年に比べ2件減少しました。
 建物火災は2件で、前年に比べ2件減少しました。そのうち住宅火災については1件で前年に比べ2件減少しました。また、火災による死者数は1名で住宅火災で発生しています。
 出火原因としては「たばこ」「プレス機」「電気配線」となっております。
 損害額については4,810千円で、前年に比べ38,609千円減少しています。

区分		年	令和4年	令和3年	増減
火災件数	合計		3	5	▲ 2
	建物火災		2(住宅1)	4(住宅3)	▲ 2
	林野火災				0
	車両火災				0
	船舶火災				0
	航空機火災				0
	その他火災		1		1
焼損棟数			2	9	▲ 7
り災世帯数			1	4	▲ 3
面焼積損	建物床面積 (㎡)		53	991	▲ 938
	建物表面積 (㎡)				0
	林野 (a)				0
損害額 (千円別)	合計		4,810	43,419	▲ 38,609
	建物	建物	2,621	39,573	▲ 36,952
		収容物	607	3,816	▲ 3,209
	林野				0
	車両			30	▲ 30
その他		1,582		1,582	
死者数			1		1
負傷者数				2	▲ 2
焼火損元 程度建物	全焼			3	▲ 3
	半焼				0
	部分焼		1		1
	ぼや		1	1	0
住宅用火災警報器設置件数 ()は住宅火災件数			1(1)	1(3)	

救急概要

令和4年上半期(1月～6月)の救急出動件数は2,166件で、前年同時期に比べ174件、8.7%の増加となりました。1日あたりの平均件数は12件でした。

10年前の同時期と比較すると、534件、32.7%の増加、最多となった3年前(令和元年)の同時期と比較しても、131件、6.4%の増加となりました。

全体の搬送者のうち、約68.5%が65歳以上の高齢者でした。

搬送人員は2,033人で、小松市民の約52人に1人が利用したことになります。搬送した傷病者のうち約42.1%は軽症者でした。

区分		年	令和4年	令和3年	増減
救急出動件数	合計		2,166	1,992	174
	急病		1,357	1,193	164
	交通事故		126	106	20
	一般負傷		363	357	6
	転院搬送		258	271	▲ 13
	その他		62	65	▲ 3
救急搬送人員	合計		2,033	1,871	162
	急病		1,264	1,128	136
	交通事故		119	94	25
	一般負傷		349	332	17
	転院搬送		258	271	▲ 13
	その他		43	46	▲ 3
傷病者年齢別	高齢者		1,392	1,250	142
	成人		502	484	18
	少年		66	56	10
	乳幼児		73	78	▲ 5
	新生児		0	3	▲ 3
傷病程度別	死亡		71	50	21
	重症		260	279	▲ 19
	中等症		849	794	55
	軽症		853	748	105

救助概要

令和4年上半期(1月～6月)の救助出動件数は31件で、前年同時期に比べ6件増加しています。出動の約半数は交通事故によるものです。

救助活動件数は13件、救助人員は13人と前年同時期に比べ減少しました。

区分		年	令和4年	令和3年	増減
出動件数			31	25	6
活動件数			13	14	▲ 1
救助人員			13	15	▲ 2